

# 2023年3月期第2四半期 決算説明資料

---

株式会社中京銀行  
2022年11月14日



業績ハイライト	P2
損益の状況	P3
資金利益	P4
役務取引等収益	P5
預金・貸出金の状況	P6
与信管理の状況	P7
有価証券、自己資本比率	P8
業績予想	P9
【資料】あいちFG業績予想・株主還元方針・配当予想	P10
【資料】愛知銀行の2023年3月業績予想	P11
【資料】中京銀行の2023年3月業績予想	P12

# 業績ハイライト

- 連結、単体とも経常利益、中間純利益は計画を上回る結果。

## 連結

(単位：億円)

	2020年度 中間期	2021年度 中間期	2022年度 中間期	2022年度 中間期		2022年度 中間期計画	計画比 増減額	計画比 達成率
				前年同期比 増減額	前年同期比 増減率			
1 経常収益	172	158	139	▲19	▲12.4%	—	—	—
2 経常利益	16	21	19	▲2	▲11.3%	17	+2	114.1%
3 親会社株主に帰属 する中間純利益	8	4	12	+8	178.7%	8	+4	159.2%

## 単体

(単位：億円)

	2020年度 中間期	2021年度 中間期	2022年度 中間期	2022年度 中間期		2022年度 中間期計画	計画比 増減額	計画比 達成率
				前年同期比 増減額	前年同期比 増減率			
1 経常収益	174	159	135	▲24	▲15.0%	—	—	—
2 経常利益	21	25	18	▲6	▲24.0%	16	+2	115.0%
3 中間純利益	13	8	12	+3	75%	8	+3	150.2%

# 損益の状況

- 資金利益の減少を役務取引等利益の増加や経費削減で打ち消し、コア業務純益は1億円の増加。
- ローコスト経営に基づく構造改革による経費削減がコア業務純益増加に貢献。

## 損益の状況

(単位：億円)

	2020年度 中間期	2021年度 中間期	2022年度 中間期		2022年度 計画	進捗率
				前年同期比		
1 業務粗利益	111	115	101	▲14	—	—
2 資金利益	95	96	87	▲9	168	51.7%
3 役務取引等利益	11	16	18	+1	35	51.4%
4 経費	86	84	75	▲9	143	52.4%
5 人件費	46	44	39	▲5	71	54.9%
6 物件費	33	31	28	▲2	57	49.1%
7 実質業務純益	24	31	26	▲5	—	—
8 コア業務純益	20	29	30	+1	60	50.0%
9 コア業務純益(除く投信解約益)	15	20	24	+3	55	43.6%
10 経常利益	21	25	18	▲6	42	42.8%
11 中間(当期)純利益	13	8	12	+3	29	41.3%

# 資金利益

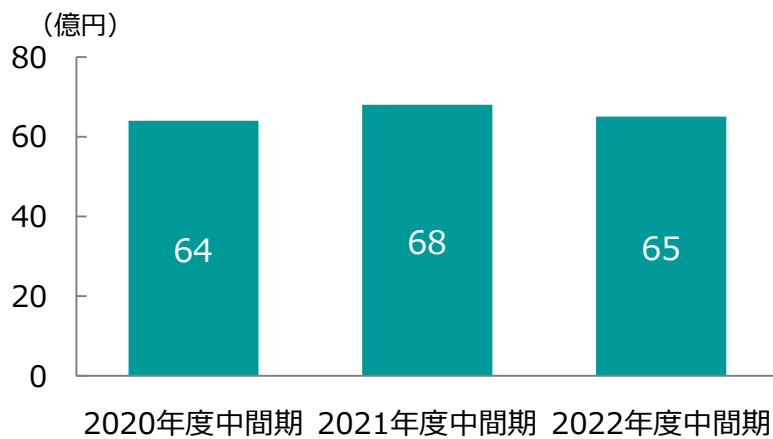
- 貸出金利回りの低下を主因に貸出金利息は減少。
- 有価証券利息配当金も利回りの低下を主因に減少。

## 資金利益の内訳

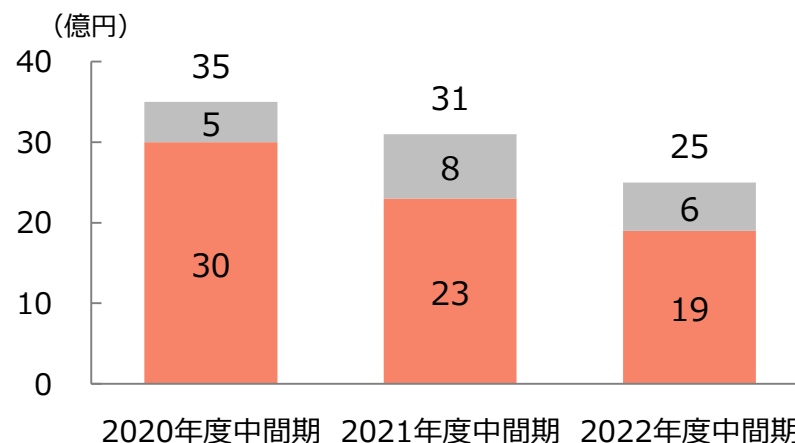
(単位：億円)

	2020年度 中間期	2021年度 中間期	2022年度 中間期	前年同期比
1 資金利益	95	96	87	▲9
2 貸出金利息	64	68	65	▲2
3 預金利息(▲)	1	0	0	+0
4 有価証券利息配当金	35	31	25	▲6

## 貸出金利息



## 有価証券利息配当金



- 有価証券利息配当金(投信解約益除く)
- 投信解約益

# 役務取引等収益

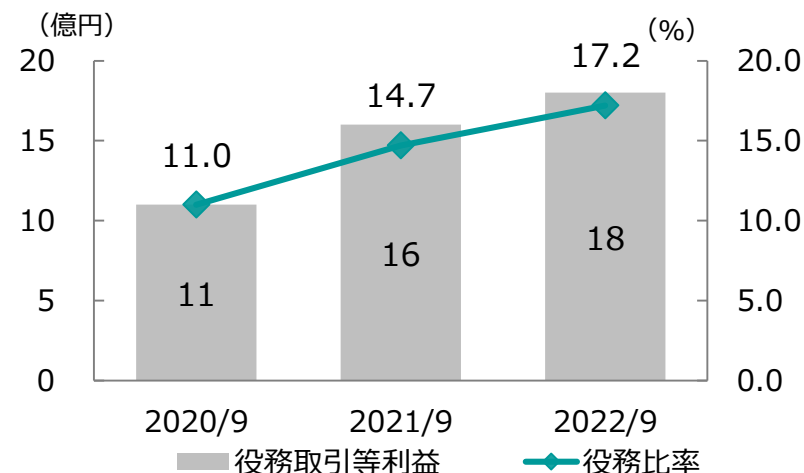
- 法人役務はソリューション関連手数料の増強を主因に増加。
- 個人役務は、投資信託手数料は減少するも、好調な生保窓販手数料でカバー。

## 役務取引等利益

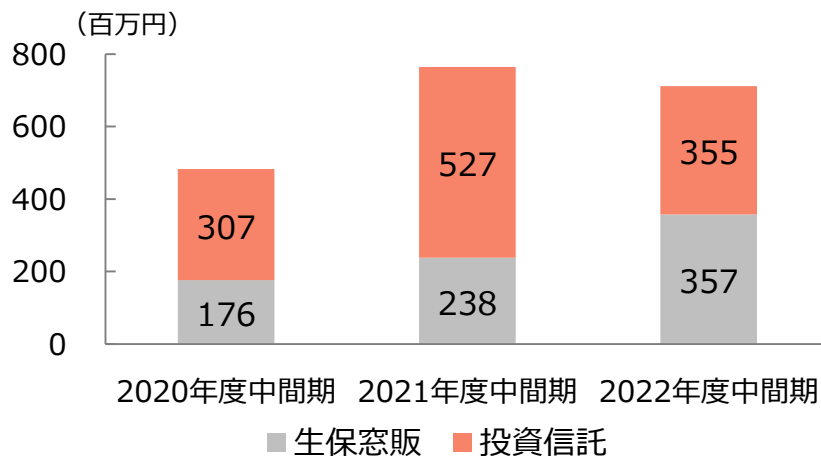
(単位：億円)

	2020年度 中間期	2021年度 中間期	2022年度 中間期	前年同期比
1 役務取引等利益	11	16	18	+1
2 役務取引等収益	22	27	28	+0
3 個人役務収益	4	7	7	▲0
4 法人役務収益	5	6	9	+2
5 役務取引等費用	11	11	10	▲0

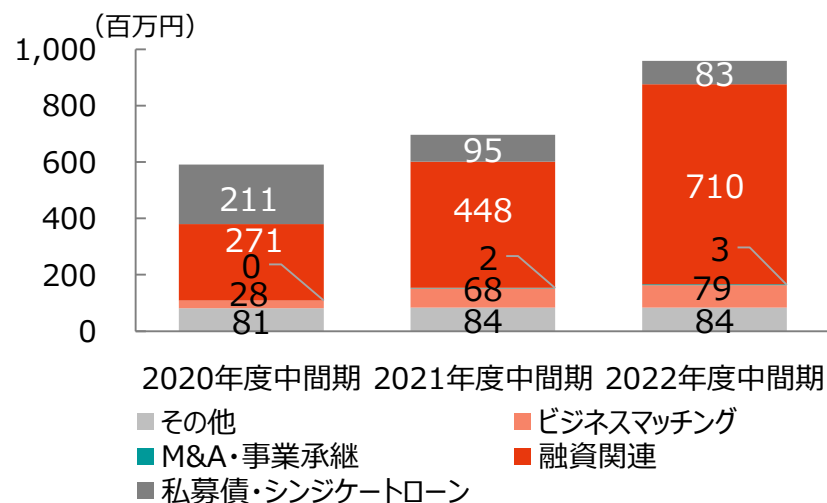
## 役務比率



## 預かり資産関連手数料



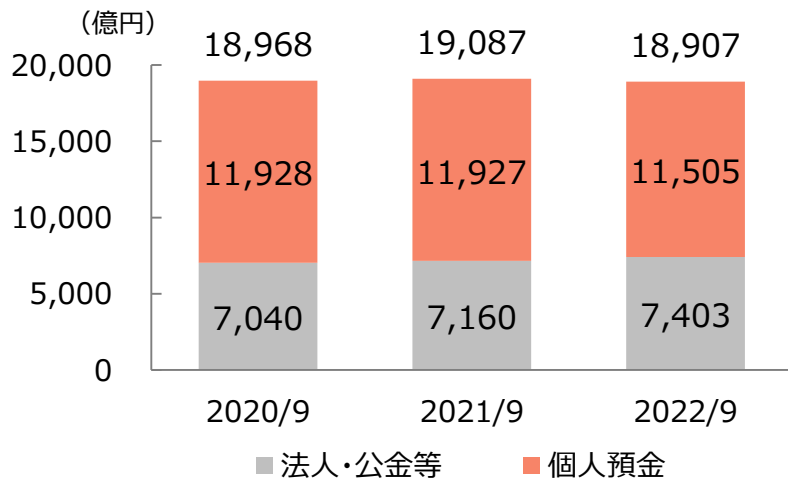
## ソリューション関連手数料



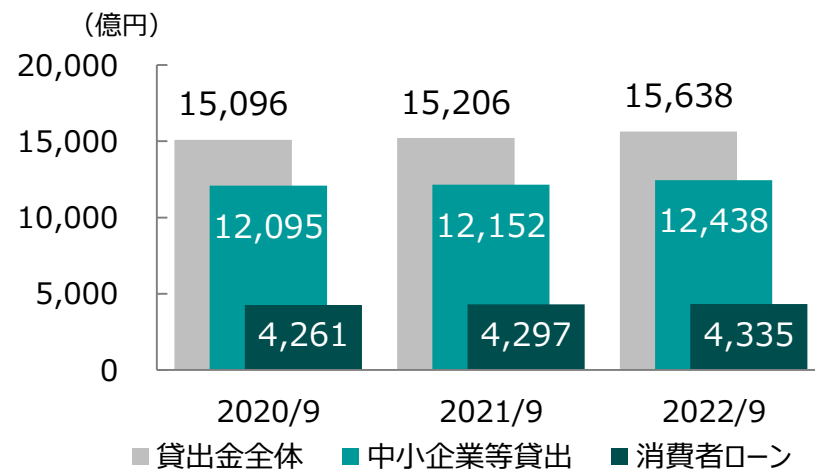
# 預金・貸出金の状況

- 中小企業、個人のお客さまのニーズに積極的に答え、貸出金残高は増加
- 預金は、店舗再編により、三重県中心に減少するも法人預金は増加

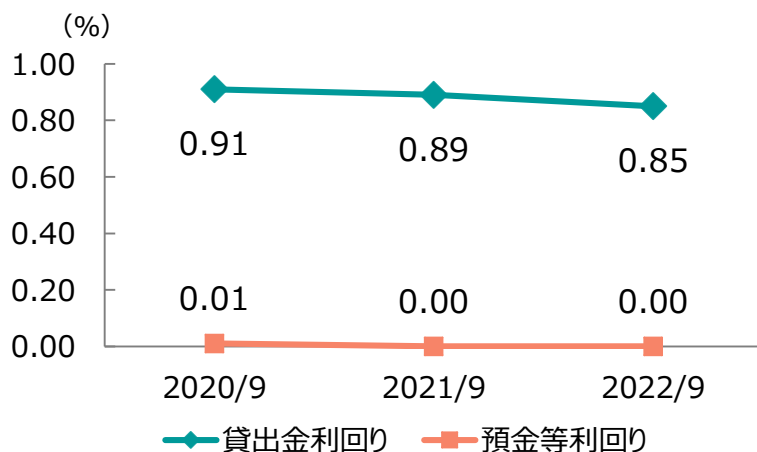
## 預金残高



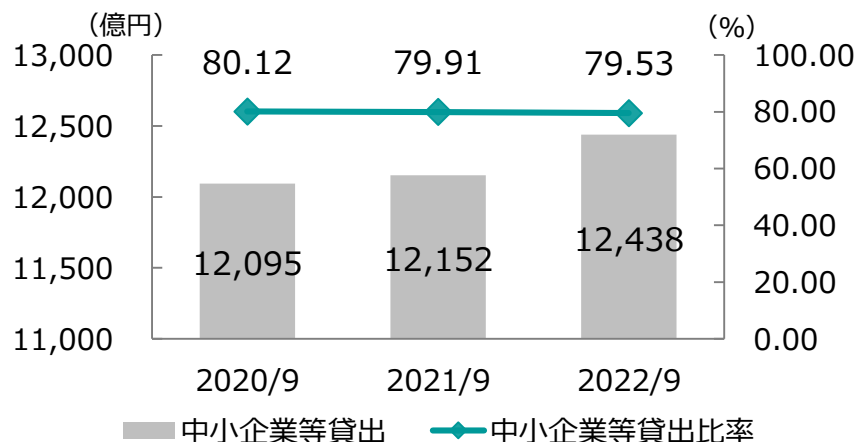
## 貸出金残高



## 利回り推移



## 中小企業等貸出比率



# 与信管理の状況

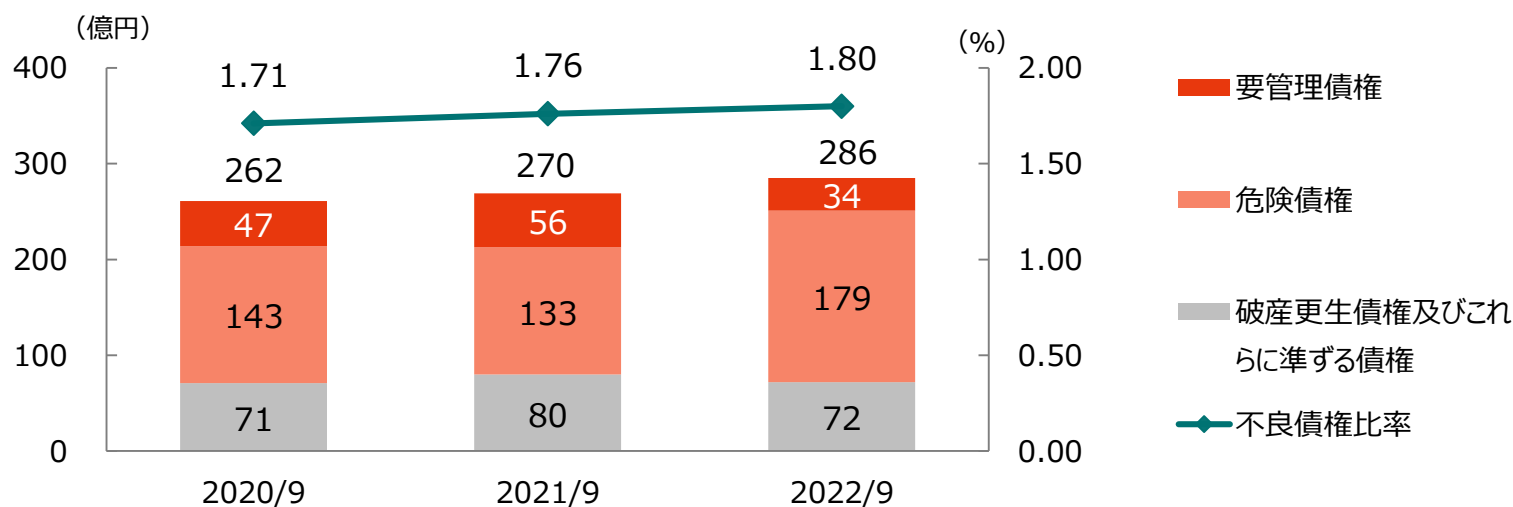
- 前年度にFL引当を導入した要因があったこともあり、一般貸倒引当金繰入額は大きく減少。
- 不良債権比率はやや増加したものの問題ない水準。

## 信用コストの状況

(単位：億円)

		2020年度 中間期	2021年度 中間期	2022年度 中間期	前年同期比
1	信用コスト	23	25	5	▲20
2	個別貸倒引当金繰入額	15	3	3	+0
3	一般貸倒引当金繰入額	6	21	▲0	▲21
4	偶発損失引当金等	1	1	2	+1

## 金融再生法開示債権および不良債権比率





# 有価証券、自己資本比率

- 株式相場の軟調な推移や、世界的な金利の上昇の影響等により有価証券評価益は大きく減少。
- 自己資本比率は自社株買いの影響から大きく低下。

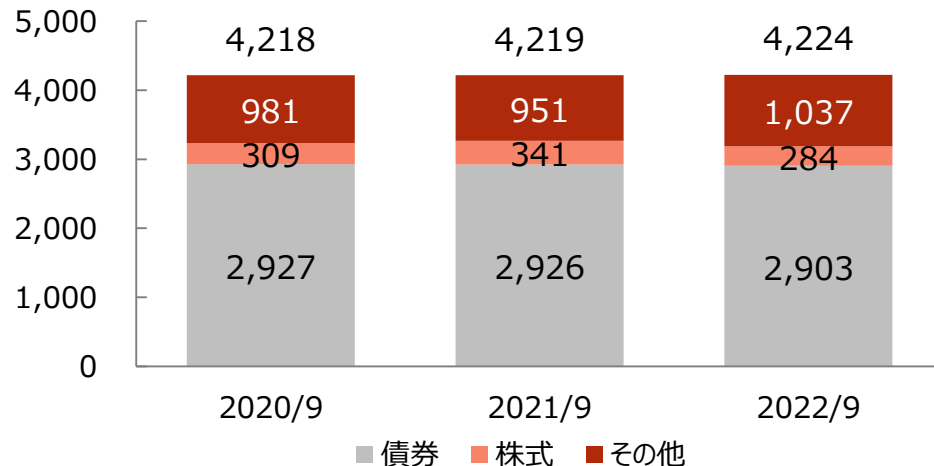
## 有価証券評価損益

(単位：億円)

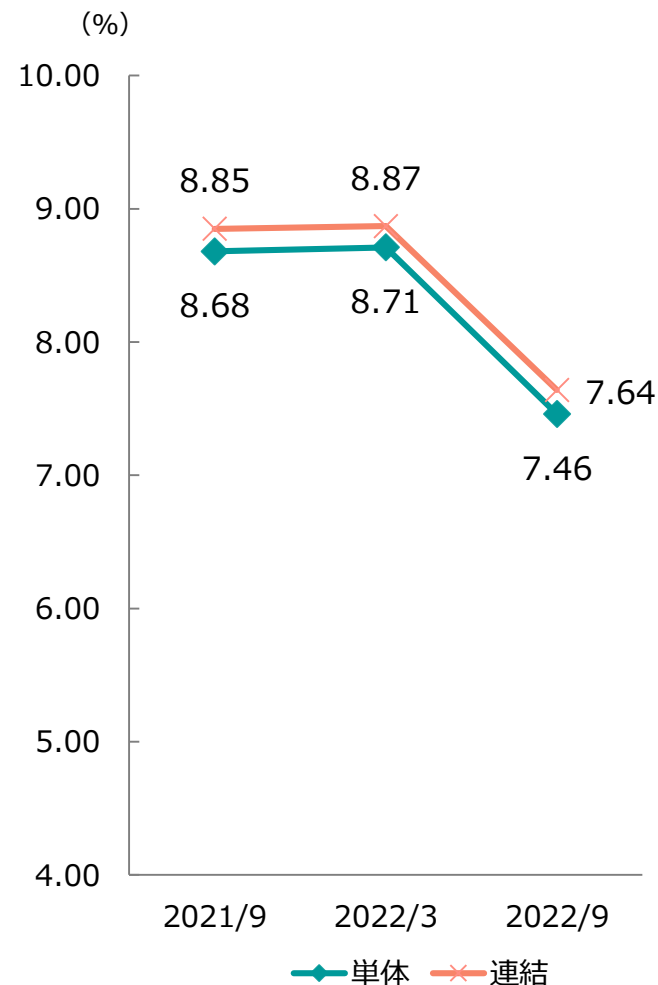
	2020年 9月末	2021年 9月末	2022年 9月末	前年同期比
1 有価証券評価損益	119	215	30	▲185
2 株式	105	148	106	▲42
3 債券	15	10	▲15	▲25
4 その他	▲1	55	▲61	▲117

## 有価証券残高の構成

(億円)



## 自己資本比率（単体・連結）



# 業績予想

- コア業務純益は計画比1億円の増加となるが、下期に本格化するシステム関連の統合費用や店舗再編に伴う費用等により、通期予想の当期純利益は2億円と大きく減少

## 連結

(単位：億円)

	2022年度 中間期	2022年度 通期計画	2022年度 通期予想	計画比
1 経常利益	19	42	38	▲4
2 親会社株主に帰属 する中間純利益	12	28	3	▲25

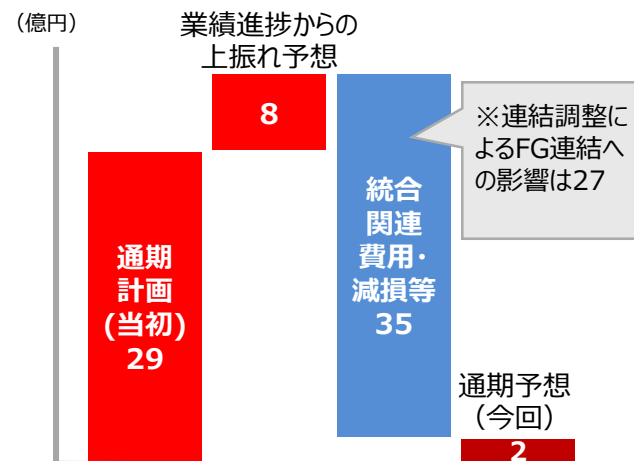
- ① 第2四半期までの業績は当初計画を上回る進捗で、連結当期純利益28億円は達成できる水準で推移
- ② しかしながら、約2年後のシステム統合を踏まえた関連統合費用の前倒しでの計上、今後実施する店舗再編に伴う費用、統合経費等を今期計上するもの

## 単体

(単位：億円)

	2022年度 中間期	2022年度 通期計画	2022年度 通期予想	計画比	<参考> ②の要因が 無い場合の 通期予想
1 コア業務純益	30	60	61	+1	63
2 経常利益	18	42	36	▲6	50
3 当期(中間)純利益	12	29	2	▲27	37

2023年3月期通期単体業績予想  
(当期純利益)

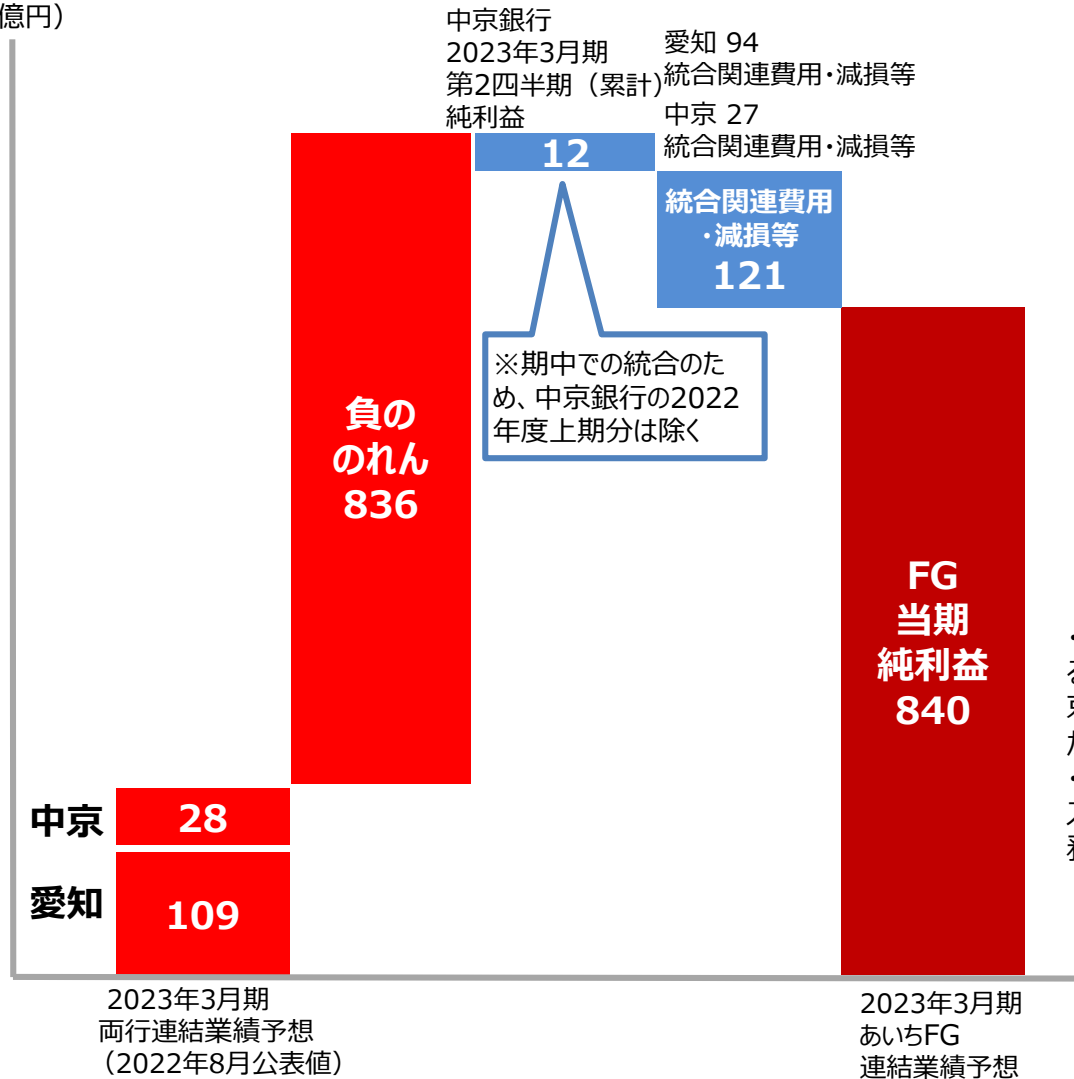


※業績予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

# 【資料】 あいちフィナンシャルグループ2023年3月の通期連結業績予想 ならびに株主還元方針（配当政策）および2023年3月期の配当予想

## 1. 2023年3月期通期連結業績予想

連結当期純利益  
(億円)



## 2. 株主還元方針（配当政策）

収益基盤の強化に向けた内部留保を確保しつつ株主に対する還元を通して資本効率の向上を図るため、1株につき100円の年間配当を下限とし、自己株式取得についても柔軟に実施していくことを基本方針とします。

具体的には、配当金と自己株式取得合計の総還元性向30%を目処とします。

※負ののれん発生益は除く。

## 3. 2023年3月期配当予想

2023年3月期の配当につきましては、グループの通期業績予想や財務状況を踏まえ、1株当たり50円の期末配当を実施させていただく予定です。

「負ののれん」とは

- ・持株会社の連結財務諸表において、会計上の被取得企業である中京銀行の資産・負債は時価で計上され、持株会社による「中京銀行株式取得額」と同行の「時価ベースの純資産額」との差額が「のれん」として発生します。

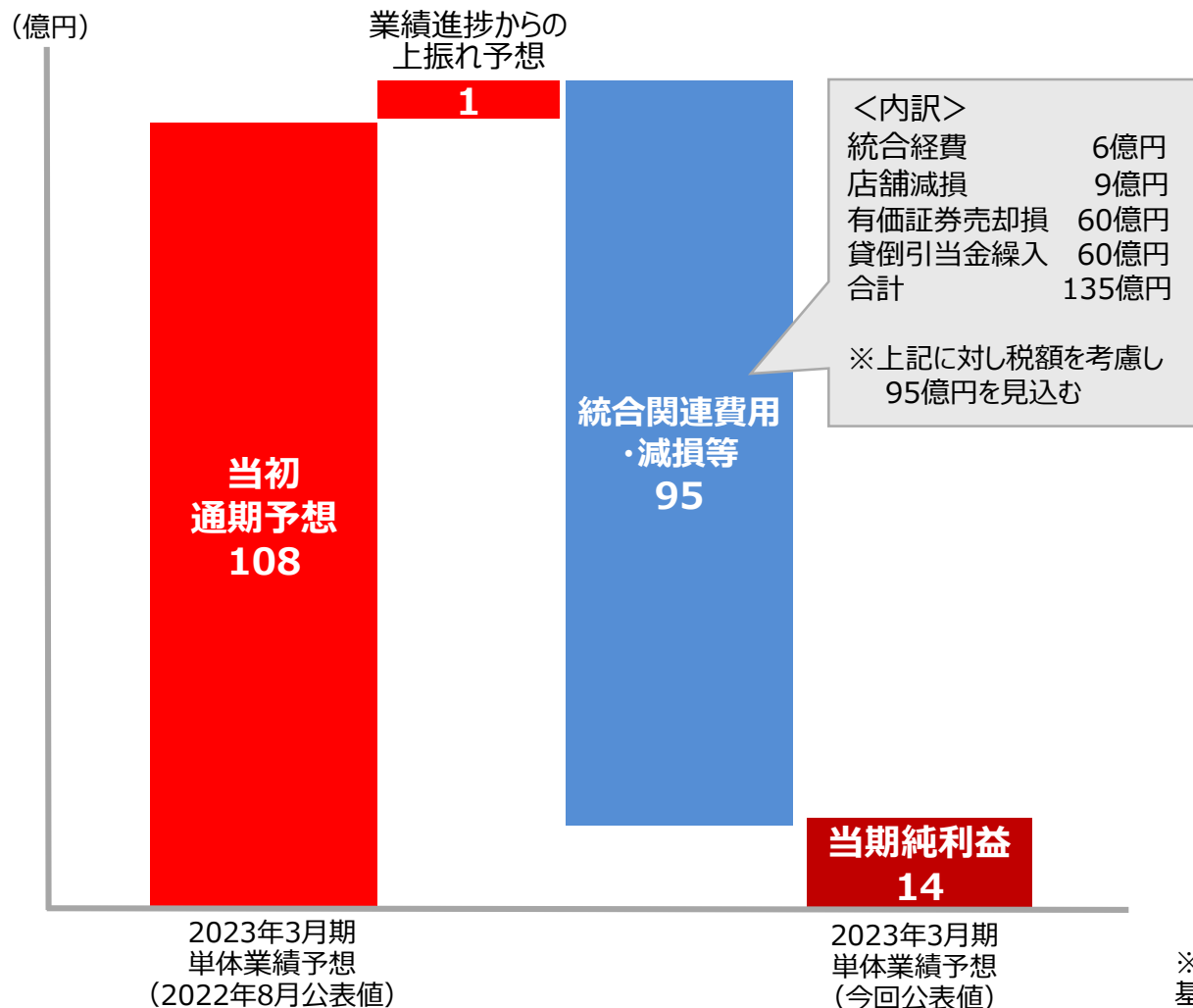
- ・本経営統合では、「中京銀行株式取得額」が同行の「時価ベースの純資産額」を下回ることから、その差額が持株会社の連結財務諸表において、「負ののれん」として発生する見込みです。

株式取得額 < 時価ベースの純資産額 ⇒ 負ののれん  
株式取得額 > 時価ベースの純資産額 ⇒ 正ののれん

※業績予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

# 【資料】 愛知銀行の2023年3月期業績予想

## 2023年3月期通期単体業績予想（当期純利益）



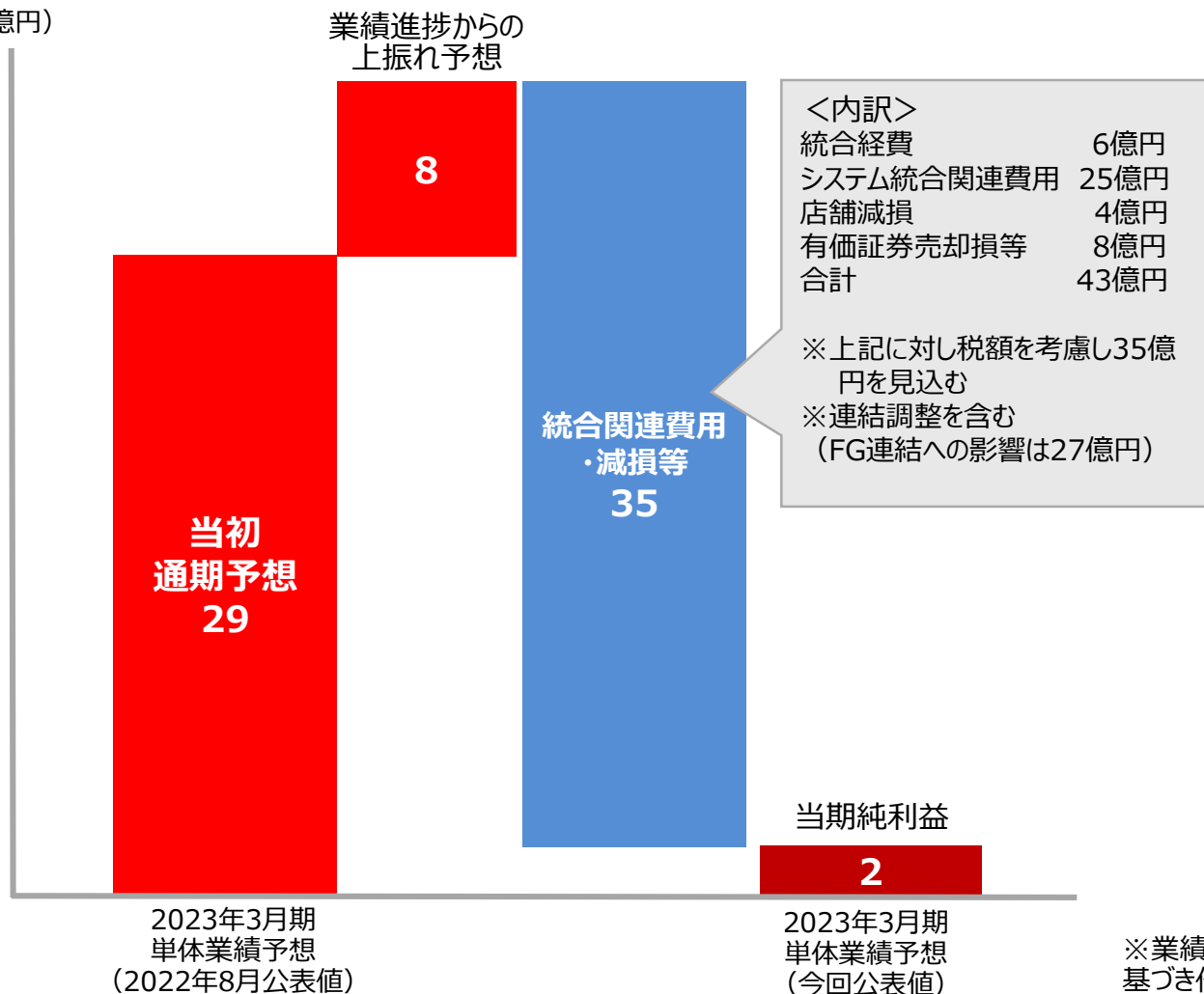
統合経費（広告宣伝費や今後実施する店舗再編に伴う費用等）の他、グループ内でバランスをとった有価証券運用に向けた債券ポートフォリオの再構築、足元の経済環境等を踏まえた貸倒引当金の繰入れを実施し、銀行合併を前に、より堅実な財務状況を戦略的に作り出すもの。

※業績予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

# 【資料】 中京銀行の2023年3月期業績予想

## 2023年3月期通期単体業績予想（当期純利益）

(億円)



約2年後の銀行合併に先行して発生するシステム統合関連費用や、今後実施する店舗再編に伴う費用、統合経費等を今期計上するもの

※業績予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化等により、異なる可能性があることにご留意ください。

<お問合せ先>

株式会社中京銀行 総合企画部 企画グループ

TEL : 052-249-1613

FAX : 052-252-5921

URL : <https://www.chukyo-bank.co.jp/>